



医薬品を正しく購入するための

説明文書

使用前には必ず添付文書を読んで下さい

1	名称	小青竜湯エキス [細粒] 28 (第 2 類医薬品)																				
2	成分・分量	<p>本品 3 包 (6.0g) は</p> <table border="0"> <tr> <td>マオウ</td> <td>1.5g</td> <td>サイシン</td> <td>1.5g</td> <td>カンゾウ</td> <td>1.5g</td> </tr> <tr> <td>ケイヒ</td> <td>1.5g</td> <td>カンキョウ</td> <td>1.5g</td> <td>ハンゲ</td> <td>3.0g</td> </tr> <tr> <td>シャクヤク</td> <td>1.5g</td> <td>ゴミシ</td> <td>1.5g</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>小青竜湯水製エキス 5.5g を含有する細粒剤です。 添加物としてメタケイ酸アルミン酸 Mg、ヒプロメロース、乳糖、トウモロコシデンプン、香料を含有します。</p>			マオウ	1.5g	サイシン	1.5g	カンゾウ	1.5g	ケイヒ	1.5g	カンキョウ	1.5g	ハンゲ	3.0g	シャクヤク	1.5g	ゴミシ	1.5g		
マオウ	1.5g	サイシン	1.5g	カンゾウ	1.5g																	
ケイヒ	1.5g	カンキョウ	1.5g	ハンゲ	3.0g																	
シャクヤク	1.5g	ゴミシ	1.5g																			
3	用法・用量	<p>次の量を、1 日 3 回、食前又は食間に服用して下さい。 (食間とは食後 2 ~ 3 時間を指します。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 齢</th> <th>1 回の服用量</th> <th>1 日の服用回数</th> <th rowspan="5">服用に際しての注意 (1)定められた用法・用量を厳守して下さい。 (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。 (3)1 才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させて下さい。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人 (15 才以上)</td> <td>1 包</td> <td rowspan="5">3 回</td> </tr> <tr> <td>15 才未満 7 才以上</td> <td>2/3 包</td> </tr> <tr> <td>7 才未満 4 才以上</td> <td>1/2 包</td> </tr> <tr> <td>4 才未満 2 才以上</td> <td>1/3 包</td> </tr> <tr> <td>2 才未満</td> <td>1/4 包</td> </tr> </tbody> </table>			年 齢	1 回の服用量	1 日の服用回数	服用に際しての注意 (1)定められた用法・用量を厳守して下さい。 (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。 (3)1 才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させて下さい。	大人 (15 才以上)	1 包	3 回	15 才未満 7 才以上	2/3 包	7 才未満 4 才以上	1/2 包	4 才未満 2 才以上	1/3 包	2 才未満	1/4 包			
年 齢	1 回の服用量	1 日の服用回数	服用に際しての注意 (1)定められた用法・用量を厳守して下さい。 (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。 (3)1 才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させて下さい。																			
大人 (15 才以上)	1 包	3 回																				
15 才未満 7 才以上	2/3 包																					
7 才未満 4 才以上	1/2 包																					
4 才未満 2 才以上	1/3 包																					
2 才未満	1/4 包																					
4	効能・効果	気管支炎、気管支ぜんそく、鼻水、うすい水様の痰を伴う咳、鼻炎																				
5	保健衛生上の危害を防止するために必要な事項	<p>次の人は服用しないで下さい。 生後 3 ヶ月未満の乳児</p> <p>次の人は、服用前に医師又は薬剤師に相談して下さい。 (1)医師の治療を受けている人 (2)妊婦又は妊娠していると思われる人 (3)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人) (4)胃腸の弱い人 (5)発汗傾向の著しい人 (6)高齢者 (7)今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人 (8)次の症状のある人 - むくみ、排尿困難 (9)次の診断を受けた人 - 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害</p> <p>長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談して下さい。</p>																				
6	薬剤師又は登録販売者が必要と判断する事項																					

〔注意事項〕

1. 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に、役立たせるために必要な情報です。
2. 情報提供が不必要とされるお客様には、申し出により情報提供は行いません。
3. 使用後、体調に変化等があった場合(副作用など)には使用を中止し、すぐに購入された店舗の薬剤師又は登録販売者にご相談下さい。